

(聞き取り問題) 放送は、試験開始二分後に始まりますので、それまでに後の問いを読んでおきなさい。

問1 筆者が革靴の手入れに水を用いても問題がないと主張する根拠は何ですか。次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。ア
素材となる革は加工される時には水洗いされることが多いから。
イしみが残らないような手入れにはむしろ水分が必要となるから。
ウ色落ちは革自体の性質の問題ではなく一部の製品の問題だから。
エ型崩れは革自体の性質の問題ではなく使用法に問題があるから。

問2 水ぶきをした革靴に「型崩れ」が起きるのはどのような場合ですか。「ㄱ場合」に続く形で十五字程度で答えなさい。

問3 「油性のクリーム」だけでは靴のトラブルを防ぐことができないのはなぜですか。その原因を漢字四字で答えなさい。

問4 「革靴を水ぶきする」ことでしみができてしまうのはどのような場合だと考えられますか。次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

アぞうきんの絞りが軽くなってしまった。
イ革の表面に水をふき残してしまった。
ウ革の重なっている部分までふいてしまった。
エ乾燥させるときに日陰に干してしまった。

問5 革靴のふだんのお手入れとして正しい手順になるように記号を並びかえなさい。

ア風通しのよいところで乾燥させる。
イしみがある部分を力をいれて押すようにふき取る。
ウ靴の表面全体をぞうきんで水ぶきする。
エぞうきをぬらし、おしぼりより少し水気が多いくらいに絞る。
オ表面に浮かび上がってきた汚れをふく。

問6 この文章の内容に合致するものを次のア～カから二つ選び、記号で答えなさい。

ア紹介された手入れ法であれば色落ちや型崩れした革靴を美しくよみがえらせることができる。
イもともと革は水に弱い性質があるので、「革靴を水ぶきする」と聞くと驚く人がある。
ウ靴のしみに対しては、水分を与えると一部分の汚れが革全体に拡がるので逆効果になることがある。
エ靴を乾燥させた後も、しみが残っていた場合には同様の手入れを繰り返す。
オ靴の素材がつやのある一般的な牛の革の場合、かびや油じみに対しても紹介された手入れは有効である。
カ紹介された手入れ法は防水加工を施してある靴やエナメル靴には効果が期待できない。

※スクリプトは、『暮らしの小ワザ辞典』より作成しました。著作権の関係により、掲載はできません。

次の文章は、濱野京子『この川のむこうに君がいる』の一部です。高校で吹奏楽部に所属している岩井梨乃いわいりのは、東日本大震災で被災した経験があります。そのことを移住先の中学で同情され、ひどく傷ついたため、高校では秘密にしています。同じ吹奏楽部の紺野遼こんのりょうも被災者ですが、彼にも伝えていません。本文は、梨乃が初めて吹奏楽のコンクールに部長の若宮詩緒わかみやしおとがわたくと、あかさきとうこ、ながおしゆんべい戸川拓斗、赤崎陶子、長尾順平らとともに出場する場面です。文章を読んで後の問いに答えなさい（設問の都合上、本文を一部省略・変更しています）。

※問題文は、著作権の関係により掲載ができません。

※設問文の、著作権の関係により掲載ができない箇所は「*****」と表記しています。

問1

部 a ～ e のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

問2

A D の中に入る語として最も適切なものを次のア～カから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし同じ記号は一度しか使えません。

ア さっ イ ぐっ ウ ぼん エ じっ オ ばっ カ むっ

問3

部(1)～(3)の「表情」の説明として最も適切なものを次のア～オから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし同じ記号は一度しか使えません。

ア あやしむ イ ほがらか ウ はにかむ エ こわばる オ にぎやか

問4

部①「*****」とあるが、この言葉には詩緒のどのような思いが込められていますか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自身の吹奏楽部の経歴を有終の美で終わらせるため、出演者に良い演奏をさせようとする強い決意が込められている。
 イ 多くの観客に戸惑う後輩を安心させる気遣いと共に、このコンクールで吹奏楽から離れる悲しみが込められている。
 ウ 本番での失敗を恐れる後輩が力を抜いて演奏に臨めるように、あえて楽観的な言葉をかける優しさが込められている。
 エ 初めてのコンクール出場に気を張り詰めた後輩を応援しつつ、最後となるコンクールへの意気込みが込められている。

問5

部②「*****」とあるが、ここで梨乃はどのようなことを「*****」だと感じましたか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自身が演奏する『復興』という曲により、被災によって傷ついた人々の心が癒やせるようになったこと。
 イ 被災時の悲しみや転校先での偏見から立ち直りつつある中で、やりたいことができるようになったこと。
 ウ 被災地への思いを語るコンサートに演奏者として参加できるほど、クラリネットの技術が向上したこと。
 エ 被災の苦しみや偏見の辛さを乗り越えて、被災前と何一つ変わらない日常を送れるようになったこと。

問6

部③「*****」、部④「*****」とあるが、この時の梨乃の心情を示す語として最も適切なものを次のア～エから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 優越感 イ 達成感 ウ 一体感 エ 全能感

問7

本文の内容に合致するものとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 演奏曲の旋律が細かく描写され、登場人物の心情に重ねられることで、読者が感情移入しやすくなっている。
 イ 一人の登場人物に焦点が当てられ、全体を通してその人物の思春期のゆらめきが、色彩豊かに描かれている。
 ウ 『復興』という題名の曲を演奏することにより、主人公の様々な思いが昇華されていく様子が描かれている。
 エ 会話文では、親しげに話す友人と、それに対し硬直する主人公の心理状態が、記号によって表現されている。

三 次の〈A〉〈C〉は2017年5月17日(水)朝日新聞の「耕論世の中、便利すぎ?」という記事です。「耕論」は、あのテーマについて三人がそれぞれの立場から考えを述べる構成をとっています。今回のテーマは、深夜まで開いているお店や決められた時間に届く配送サービスなど、現在では当たり前になった「便利さ」です。問題文を読み、後の問いに答えなさい(設問の都合上、本文を一部省略・変更しています)。

※問題文は、著作権の関係により掲載ができません。

※設問文の、著作権の関係により掲載ができない箇所は「*****」と表記しています。

(注) ※1 ワンオペ 一人で何かに取り組むこと。ここでは人件費削減のために、従業員一人で営業している様を示す。

※2 アマゾン インターネットを通じて商品を購入できるサービスを提供する企業の名前。

※3 俯瞰 一定の場所から全体を眺めること。

※4 便益 便利で、利益があること。

※5 対象系 「系」とはある関係をもったまとまりのこと。ここでは「対象物そのものや関連する事がら全て」とする。

※6 カーナビ自動車の走行時に現在位置や目的地への経路案内を行なう機能のこと。

問1部 a~e のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

問2 【I】にあてはまる語として最も適切なものを次のア~エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア でも イ したがって ウ つまり エ ところで

問3 [A]にあてはまる語を〈A〉の文中から漢字二字で抜き出さない。

問4 [B]にあてはまる語として最も適切なものを次のア~エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア ハザードマップ イ セキュリティー ウ ライフライン エ ボランティア

問5 [C]にあてはまる語を〈C〉の文中から漢字二字で抜き出し、「〴〵的」という語を完成させなさい。

問6 []部①「試行錯誤」の意味として最も適切なものを次のア~エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア かたきを討つために、長い間試験に耐え、苦勞すること。

イ 困難に打ち勝つために、苦しみながら懸命に努力すること。

ウ 手がかりのないものを、闇の中でいろいろ探ってみること。

エ 試み、失敗を重ねながら、だんだん適応するようになること。

問7 []部②「*****」とあるが、これはコンビニのどのような性質によるものですか。「〴〵こと」に続く形で〈B〉の文中から三十字で抜き出し、最初と最後の五字を答えなさい(句読点等を含む)。

問8 []部③「*****」とあるが、不利益の具体例として適切でないものを次のア~エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 普段家から出ないので、駅ではエスカレーターでなく階段を使うことで運動「能力の低下を防ぐ」ようにしていた。

イ 誕生日ケーキを店で買わずに、娘の好物を使って一から手作りしたところ、「俺だけ感のある」ケーキができた。

ウ 初対面の人ではなく自分のことを昔から知っている友人とグループを組むことで、「安心・信頼して」活動できた。

エ 洗濯機が故障したので仕方なく服を手洗したら、セーターは手作業で洗った方が汚れを落とせると「発見できた」。

問9

〈A〉、〈C〉の文章に関する説明として最も適切なものを次のア、エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 〈A〉・〈B〉では消費者と企業というそれぞれの立場から社会の現状を理解した上で主張が述べられている一方、〈C〉では研究者という立場から考えが提示されているため現実味に欠けた内容になっている。
- イ 〈A〉・〈C〉では消費者と研究者というそれぞれの視点から現在のやり方で利便性を追求していくことに疑問を呈している一方、〈B〉は企業の視点から利便性の追求こそが社会課題の解決につながると考えている。
- ウ 〈B〉・〈C〉はいずれも企業が利便性を追求するための市場として「都市」を見ている点で共通しているが、〈A〉は「地方」に目を向け、車で回れば一通りのものはそろおうという特性に市場価値を見出している。
- エ 〈A〉、〈C〉の文章は「宅配の人」「店員」「作業員」と、利便性を支える働き手に視線が向いている点で共通している中で、〈C〉は働き手の労働的負担だけでなくその後のキャリアにまで考えが及んでいる。

問10

あなたは世の中が便利になっていくことについてどう考えますか。〈A〉、〈C〉のいずれか一つの主張を参考にしながら、あなたの考えを三〇〇字程度で書きなさい。ただし、次の条件を全て満たしていること。

- 条件1 二段構成で書き、それぞれの段落の始めは一字下げること。
- 条件2 一段落目の冒頭であなたが参考にした〈A〉、〈C〉の内容を、五〇～一〇〇字程度で簡単に示すこと。
- 条件3 条件2に続けて、自分の考えを明確に示すこと。
- 条件4 二段落で、考えの理由を述べること。
- 条件5 「です・ます」体（敬体）でなく、「だ・である」体（常体）で書くこと